

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2001-526670(P2001-526670A)

【公表日】平成13年12月18日(2001.12.18)

【出願番号】特願平10-549894

【国際特許分類第7版】

C 0 7 C 29/136

B 0 1 J 31/32

B 0 1 J 31/34

C 0 7 C 31/20

C 0 7 D 307/33

// C 0 7 B 61/00

【F I】

C 0 7 C 29/136

B 0 1 J 31/32 Z

B 0 1 J 31/34 Z

C 0 7 C 31/20 Z

C 0 7 D 307/32 F

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月14日(2005.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成 17 年 2 月 14 日

特 許 庁 長 官 殿



## 1. 事件の表示

平成 10 年 特 許 願 第 549894 号

## 2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 ビーエーエスエフ アクチェンゲゼルシャフト



## 3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号  
新丸の内センタービルディング  
ゾンデルホフ&アインゼル法律特許事務所  
電話 03 (5220) 6500 (代表)

氏 名 (6181) 弁理士 矢 野 敏 雄



## 4. 補正により増加する請求項の数 0

## 5. 補正対象書類名

請求の範囲

## 6. 補正対象項目名

請求の範囲

## 7. 補正の内容

別紙の通り



## 請 求 の 範 囲

1. それぞれ金属又は酸化物の形のPt及びReを含有する触媒の存在下に少なくとも3個の炭素原子を有する脂肪族カルボン酸又はその無水物又はエステルあるいはラク톤を水素化することによる脂肪族アルコールの製法において、触媒が更に金属又は酸化物の形の元素周期系の第5～12及び14族及びランタニドからなる、但しパラジウムを除く群からの少なくとももう1つの元素を含有することを特徴とする、脂肪族アルコールの製法。
2. 少なくとももう1つの元素が、金属又は酸化物の形の元素周期系の第6、10及び11族からなる元素少なくとも1つである、請求項1に記載の方法。
3. 触媒がそれぞれ金属又は酸化物の形のMo、Ag及び／又はAuを含有する、請求項1又は2に記載の方法。
4. 水素化温度が最大200℃である、請求項1から3までのいずれか1項に記載の方法。
5. 水素化を水の存在下を実施する、請求項1から4までのいずれか1項に記載の方法。
6. 水素で還元する前のPt-成分がPtO<sub>2</sub>として存在する、請求項1から5までのいずれか1項に記載の方法。
7. 触媒の存在下に脂肪族ジカルボン酸又はその無水物又はエステルを水素化することにより脂肪族ジオール及びラク톤を製造する方法において、方法が請求項1から6までのいずれか1項に記載の方法の特徴の1つ以上を有することを特徴とする、脂肪族ジオール及びラク톤の製法。